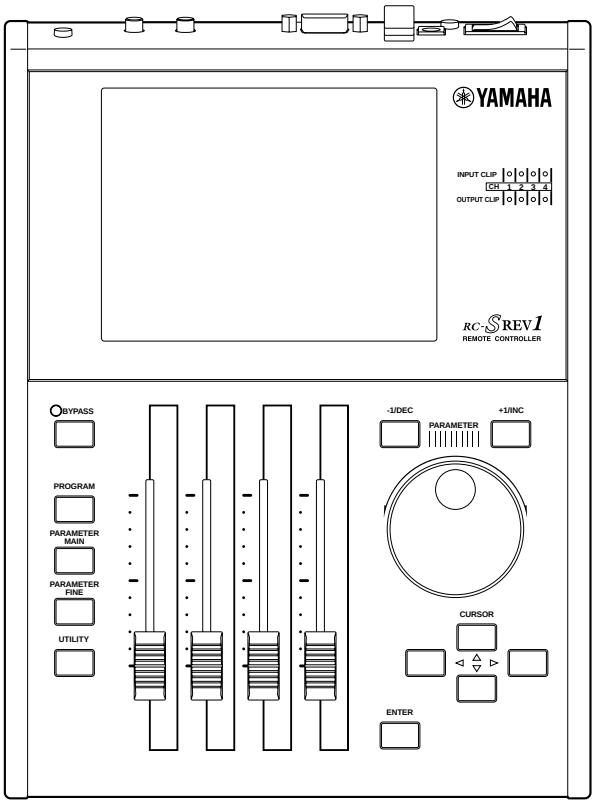
YAMAHA

REMOTE CONTROLLER

RC-SREV1

取扱説明書



この説明書をお読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

J

! 安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—

安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⚠：注意（危険・警告を含む）を促す事項

⃠：決しておこなってはいけない禁止事項

プラグをコンセントから抜け ❗：必ずおこなっていただく強制事項

⚠警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき

- この機器のACアダプターは**AC100V**専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器に**水**が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はとくにご注意ください。
- **電源コード**の上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かずに重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることのないよう、十分にご注意ください。

ご使用になるとき

- この機器の上に**水**などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。
- **電源コード**を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。

分解禁止

- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

- 雷が鳴りだしたら、ACアダプター使用の場合、早めにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

接触禁止

- 落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

使用中に異常が発生したとき

- 断線･芯線の露出など、**電源コード**が傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。そのままで使用すると、火災・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

- 万一、この機器やACアダプターを落としたり、キャビネットを**破損**した場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜け

- 煙が出る、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のままで使用すると、火災･感電の原因となります。

⚠注意

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

ご使用になるとき

- ACアダプターをご使用になる場合は、別売のヤマハ電源アダプターPA-6をご使用ください。他の電源アダプターを使用すると、故障、発熱、発火などの原因になります。

目 次

RC-SREV1の各部の名称と機能 4

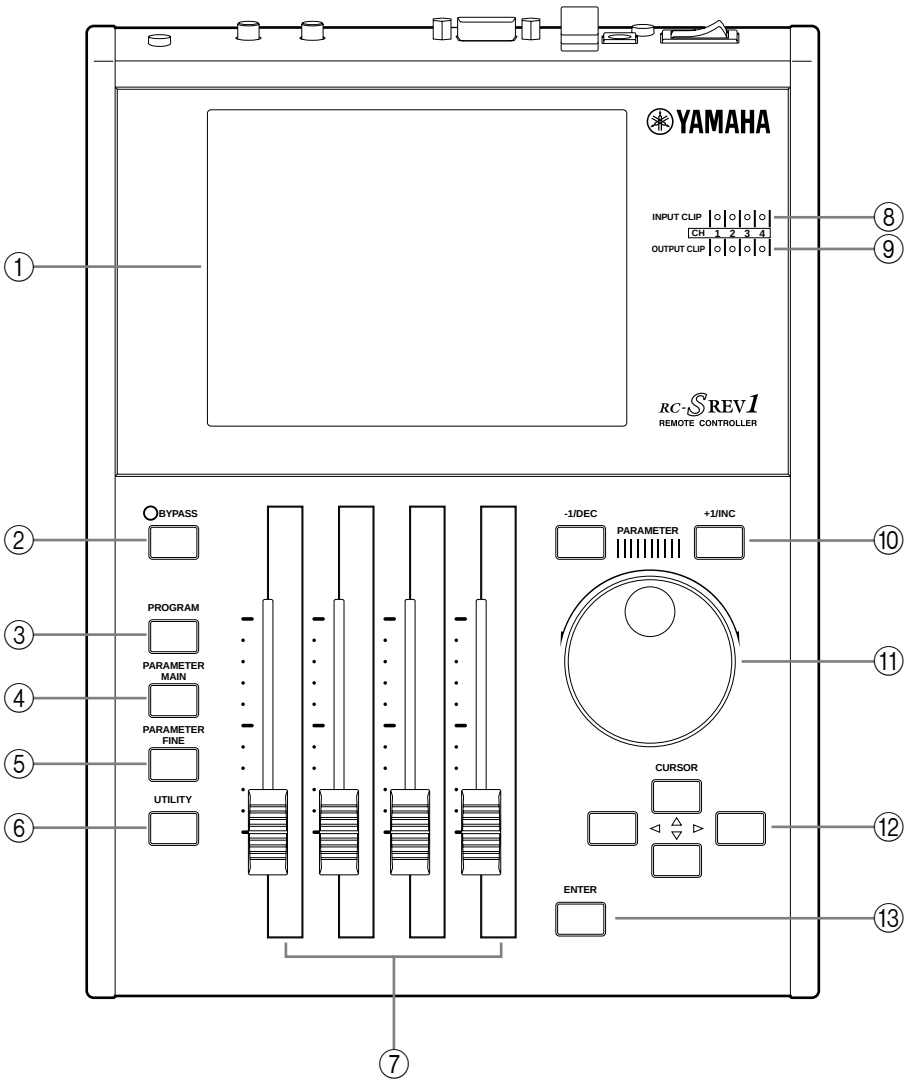
RC-SREV1のコントロールパネル 4
RC-SREV1のディスプレイ 6
RC-SREV1のリアパネル 7
RC-SREV1の電源オン／オフ 8
別売RC-SREV1 ACアダプターの使用 9
RC-SREV1の輝度・コントラストの調整 9

仕 様 10

一般仕様 10
コントロールI/O 10
リモートケーブル配線 10
寸法図 11

RC-SREV1の各部の名称と機能

RC-SREV1のコントロールパネル



① ディスプレイ

詳細は6ページの「RC-SREV1のディスプレイ」を参照ください。

② BYPASSキー／インジケーター

このキーを押すとSREV1がバイパスされ、BYPASSインジケーターが点灯します。詳細はSREV1取扱説明書38ページの「SREV1のバイパス」を参照ください。

③ PROGRAMキー

Program、Library、Projectの各画面をディスプレイに表示します。

④ PARAMETER MAINキー

Main 1、Main 2の各画面をディスプレイに表示します。

⑤ PARAMETER FINEキー

Rev、Pre EQ、Post EQの各画面をディスプレイに表示します。

⑥ UTILITYキー

Setup、DIO、Meter I/O、MIDIの各画面をディスプレイに表示します。

⑦ フェーダー

4本の60ミリ、モータードライブ付きフェーダーで、パラメーター値や入出力レベル調整に使用します。

⑧ INPUT CLIPインジケーター

チャンネル1〜4それぞれのINPUT CLIPインジケーターです。入力信号がクリップするとそのチャンネルのインジケーターが点灯します。

⑨ OUTPUT CLIPインジケーター

チャンネル1〜4それぞれのOUTPUT CLIPインジケーターです。出力信号がクリップするとそのチャンネルのインジケーターが点灯します。

⑩ −1/DEC、＋1/INCキー

DATAホイールと同じ機能で、プログラムやプロジェクトの選択、パラメーター値の設定に使用します。［−1/DEC］キーを押すと値が減少し、［＋1/INC］キーを押すと値が増加します。

⑪ DATAホイール

プログラムやプロジェクトの選択、パラメーター値の設定に使用します。右に回すと値が増加し、左に回すと値が減少します。

⑫ カーソルキー（◄ / ► / ▲ / ▼）

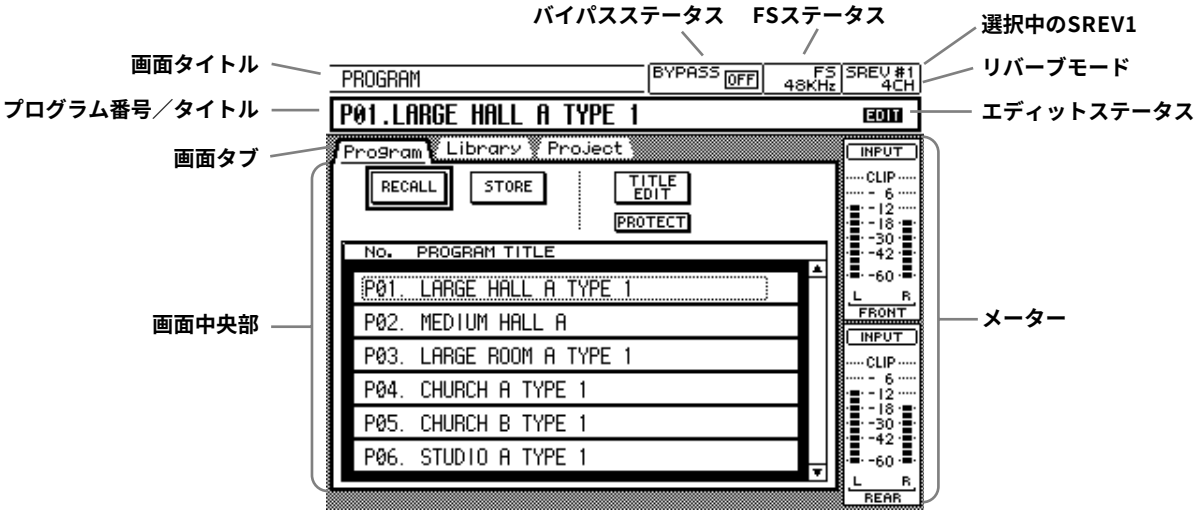
画面上のボタンやパラメーターを選択するためにカーソルを移動します。左カーソルキー（◄）はカーソルを左に移動、右カーソルキー（►）は右に移動、上カーソルキー（▲）は上に移動、下カーソルキー（▼）は下に移動します。

⑬ ENTERキー

機能を実行したり、選択肢やパラメーターを設定するときに使います。

RC-SREV1のディスプレイ

輝度・コントラスト調整付き、解像度320×240ドットの大型液晶ディスプレイです。各種プログラム、パラメーター、ユーティリティー画面やシステムステータス、信号レベルメーターなどを表示します。パラメーター値の表示だけでなく、リバーブやEQパラメーターをグラフ表示します。



画面タイトル:現在選択している画面のタイトルです。

プログラム番号／タイトル:カレントプログラムの番号とタイトルです。2チャンネル×2モードでは、プログラムAとプログラムBの番号とタイトルが表示されます。表示番号はクイックメモリーから呼び出したときの番号、またはクイックメモリーに保存したときの番号です。ドライブ(内蔵カード、CD-ROM、PCカード)から呼び出した場合には表示されません。

画面タブ:[PROGRAM]キー、[PARAMETER MAIN]キー、[PARAMETER FINE]キーの各キーで呼び出される画面です。このタブには各グループ内の画面タイトルが表示されます。

画面中央部:各プログラム、パラメーター、ユーティリティー画面が表示されます。

バイパスステータス:バイパス状態ON/OFF(ON:SREV1をバイパス)を表示します。詳細はSREV1取扱説明書38ページの「SREV1のバイパス」を参照ください。

FSステータス:SREV1のサンプリング周波数(48kHzまたは44.1kHz)と、ワードクロックソースにロックしている(LOCK)かしていない(UNLOCK)かを表示します。詳細はSREV1取扱説明書75ページの「ワードクロックソースの選択」を参照ください。

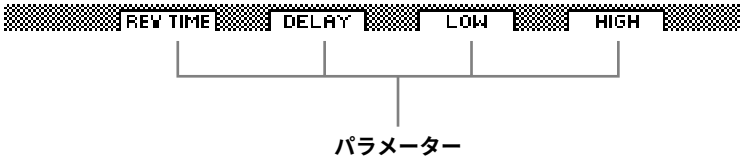
選択中のSREV1:RC-SREV1から現在コントロールしているSREV1のユニット番号を表示します。詳細はSREV1取扱説明書65ページの「RC-SREV1からのSREV1の選択」を参照ください。

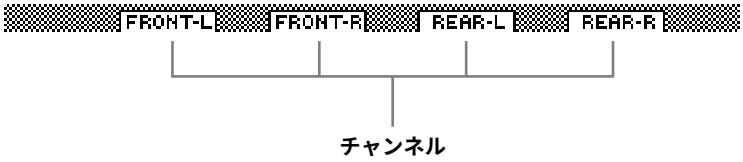
リバーブモード:現在のリバーブモードを2CH(2チャンネル)、4CH(4チャンネル)、2CH×2(2チャンネル×2)で表示します。

エディットステータス:“EDIT”インジケーター点灯時は、カレントプログラムが呼び出されてからエディットされたことを表します。(2チャンネル×2モードでは“E”と表示されます。)

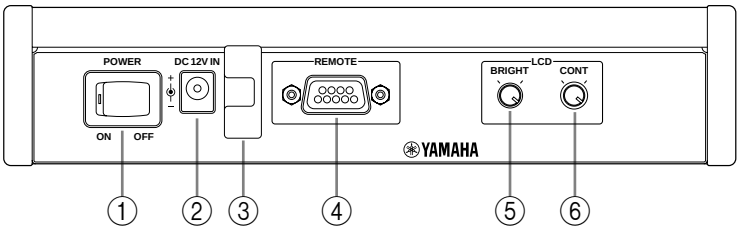
メーター:2チャンネルモードではL、Rチャンネルの入出力レベルが表示されます。4チャンネルモードではフロント-L、フロント-R、リア-L、リア-Rの各チャンネルのレベルが表示されます。2チャンネル×2モードではA-L、A-R、B-L、B-Rの各チャンネルのレベルが表示されます。4チャンネルモードと2チャンネル×2モードでは入力、出力のどちらのレベルを表示するかを選択できます。詳細はSREV1取扱説明書35ページの「メーター」を参照ください。

フェーダーステータス:各フェーダーに割り当てられているパラメーター、チャンネルを画面下に表示します。[PARAMETER MAIN]キーで呼び出された画面ではフェーダーに割り当てられた各パラメーター名が表示されます。[PARAMETER FINE]キーで呼び出された画面ではチャンネル名が表示されます。





RC-SREV1のリアパネル



① POWERスイッチ

RC-SREV1の電源をオン／オフします。電源は付属のリモートケーブルでSREV1から、または別売のACアダプターから供給されます。詳細はSREV1取扱説明書26ページの「RC-SREV1の電源オン／オフ」を参照ください。

② DC 12V IN端子

付属のリモートケーブル以外のカスタムケーブルを使用する場合にACアダプター(別売)が必要になることがあります。その場合、ACアダプターをここに接続します。詳細はSREV1取扱説明書27ページの「別売RC-SREV1 ACアダプターの使用」を参照ください。

③ アダプターケーブルクリップ

別売のACアダプターケーブルが外れないように固定するクリップです。詳細はSREV1取扱説明書27ページの「別売RC-SREV1 ACアダプターの使用」を参照ください。

④ REMOTE端子

9ピン、D-sub端子で、RC-SREV1に付属のリモートケーブルでRC-SREV1をSREV1に接続します。詳細はSREV1取扱説明書22ページの「リモートコントローラーRC-SREV1の接続」を参照ください。

⑤ BRIGHTコントロール

ディスプレイの明るさを調整します。詳細はSREV1取扱説明書27ページの「RC-SREV1の輝度・コントラストの調整」を参照ください。

⑥ CONTコントロール

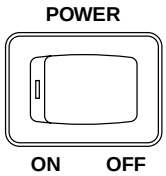
ディスプレイのコントラストを調整します。詳細はSREV1取扱説明書27ページの「RC-SREV1の輝度・コントラストの調整」を参照ください。

RC-SREV1の電源オン／オフ

> ***RC-SREV1の電源オン／オフは通常RC-SREV1の［POWER］スイッチをONにした状態で本体SREV1の［POWER］スイッチでオン／オフしてください。カスタムメイドしたリモートケーブルを使用し、ACアダプターで電源を取っている場合、RC-SREV1の電源スイッチを本体SREV1より先に電源オンするとSREV1の電源スイッチを50秒以内にオンしなければなりません。その場合“COULD NOT COMMUNICATE WITH SREV1. CHECK THE CABLE CONNECTION AND SREV1'S POWER, THEN TURN ON RC-SREV1 AGAIN.”とメッセージが表示されます。RC-SREV1の電源スイッチは本体SREV1の電源オンの後に行ってください。***

1 RC-SREV1の［POWER］スイッチをONにして電源を入れます。

起動画面を表示し、本体SREV1との通信を行った後にProgram画面が表示されます。



2 RC-SREV1の［POWER］スイッチをOFFにして電源を切ります。

RC-SREV1の電源はリモートケーブルを介してSREV1から供給されます。電源がオンにならない場合はリモートケーブルが正しく接続されているか、またSREV1の電源がオンになっているか確認してください。

別売RC-SREV1 ACアダプターの使用

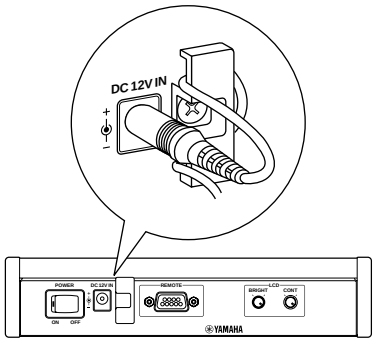
付属のリモートケーブル(20m)をお使いの場合はACアダプターは不要ですが、カスタムメイドによりそれより長いケーブルをお使いの場合は、別売のヤマハPA-6 ACアダプターを使用してください。

RC-SREV1の電源はリモートケーブルを介してSREV1から供給されますが、ケーブルが長くなると電圧が低下し正常に動作しなくなる可能性があります。

カスタムメイドのリモートケーブルの配線についてはSREV1取扱説明書91ページを参照ください。

別売のヤマハPA-6 ACアダプターはRC-SREV1のリアパネルのDC 12V IN端子に接続します。

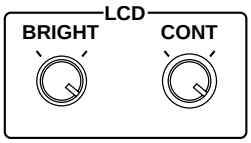
ACアダプターのケーブルが外れてしまわないように、図のケーブルクリップに掛けます。



> **注意** ***ACアダプターをご使用になる場合は、別売のヤマハ電源アダプターPA-6をご使用ください。他の電源アダプターを使用すると、故障、発熱、発火などの原因になります。***

RC-SREV1の輝度・コントラストの調整

RC-SREV1のディスプレイの輝度・コントラストを作業環境や好みに合わせて調整できます。



1 CONTコントロールでコントラストを調整します。

コントラストはオンのピクセルとオフのピクセルとのバランスで調整されます。

2 BRIGHTコントロールで輝度を調整します。

明るさはディスプレイのバックライトの輝度で調整されます。

仕 様

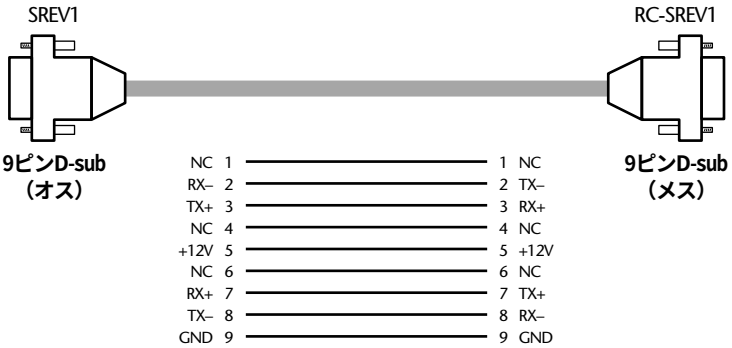
一般仕様

ディスプレイ		輝度・コントラスト調整付き、解像度320×240ドット大型液晶デスプレイ
コントロール	コントロールサーフェイス	データホイール
		60mmモーターフェーダー×4
	リアパネル	BRIGHT、CONT
ボタン	コントロールサーフェイス	BYPASS、PROGRAM、PARAMETER MAIN、PARAMETER FINE、UTILITY、－1/DEC、＋1/INC、CURSOR（◄ / ► / ▲ / ▼）、ENTER
	リアパネル	電源スイッチ
インジケーター		BYPASS、INPUT CLIP×4、OUTPUT CLIP×4
電源		12 V DC
消費電力		7.2W
最大外形寸法（W×H×D）		206×66.3×276.7mm
重量		2.05kg
動作保証温度		0～45℃
付属品		20mリモートケーブル
オプション		ACアダプター（ヤマハ PA-6）

コントロールI/O

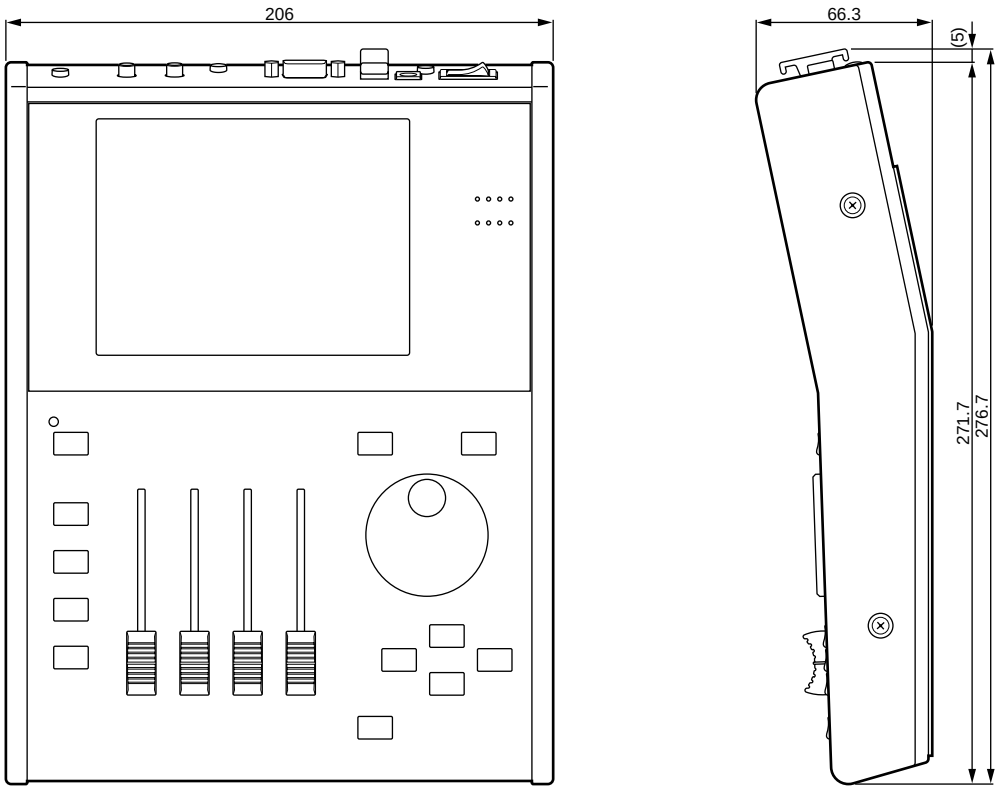
入出力端子	フォーマット	レベル	仕様コネクター
REMOTE	—	RS-422	9ピンD-sub（メス）
DC 12V IN	—	12 V DC	2.1mmミニ電源タイプ

リモートケーブル配線



- ***両コネクター間の＋12VおよびGNDの抵抗値が1.5Ω以上の場合は、別売のヤマハPA-6 ACアダプターを使用してRC-SREV1に電源供給します。***
- ***本機とサンプリングリバーブレーターSREV1の接続に使用するD-subコネクターの取付けネジはメートルネジです。カスタムケーブルを使用する場合はご注意ください。なお、付属のリモートケーブルはメートルネジです。***

寸法図



単位：mm

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

サービスについて

■ 保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■ 損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■ 調整・故障の修理

「故障かな？」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

■ お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

●お客様ご相談窓口：PA製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター
Tel: 03-5791-7678　Fax: 03-5488-5085（電話受付＝祝祭日を除く月～金／11:00～19:00）
E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

●営業窓口

PA・DMI事業部 PA営業部

北海道営業所	011-512-6106	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50　ヤマハセンター内
仙台営業所	022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10　住友生命青葉通りビル
東京事業所	03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2丁目17-11
名古屋営業所	052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪事業所	06-6647-8359	〒556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17　なんば辻本ニッセイビル
九州営業所	092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
国内営業課	053-460-2455	〒430-8650	浜松市中沢町10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスセンター	011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50　ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7　仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	044-434-3100	〒211-0025	川崎市中原区木月1184
浜松サービスステーション	053-465-6711	〒435-0016	浜松市和田町200　ヤマハ(株)和田工場内
名古屋サービスセンター	052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2　ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16　ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7　(株)ヤマハミュージック神戸　高松店内
広島サービスステーション	082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスセンター	092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社／CSセンター	053-465-1158	〒435-0016	浜松市和田町200　ヤマハ(株)和田工場内

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。
※ 2000年6月現在

ヤマハ株式会社
PA・DMI事業部 PA営業部 053-460-2455
〒430-8650 浜松市中沢町10-1

V653530 R0 1 IP 12

00 11 100 CP Printed in Japan